

# 全国協議会

## ニュース

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL: (03)3356-8217  
FAX: (03)3356-8637  
発行責任者:品川 保弘  
http://www.marrow.or.jp/  
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

### 厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会報告

## ドナー登録用件の緩和と、適格年齢幅の拡大について

10月29日に開かれた第24回厚生科学審議会において、伸び悩むドナー登録の拡大のために、①登録機会の拡大、②登録要件の見直し、③地域間格差の解消と取り組みの強化、④骨髄提供年齢の拡大が審議されました。

事務局である臓器移植対策室より、登録要件の緩和として、①体重の下限をなくし家族同意は不要とすること、②ビデオ視聴、説明員による説明を登録希望者の理解に応じて省略可能とすること、③18歳から登録受付開始、20歳から提供、50歳まで登録受付、55歳まで提供可能とするのが提案されました。

また、地域間によってドナー登録者数にかなりの格差が見られ、作成で対応できるのでは」との意見もありました。また登録受

委員からは、説明の簡素化、家族の同意の廃止について「正しい理解がされないためにコーディネーターが中止されたときの患者さんへの影響」を危惧しての反対意見が出ました。しかし一方で、登録時とコーディネーター開始時の家族が変わる可能性もある、「認識を深めてもらうための家族向けの説明資料作成で対応できるのでは」との意見もありました。また登録受

## 骨髄バンク推進全国大会開催

骨髄移植推進財団主催の10月31日、骨髄移植推進財団主催の全国大会が慶應義塾大学三田

キャンパス西校舎で開催されました。サブタイトルにもあるように、有効ドナー登録者が「もうすぐ20万人、まもなく移植6千例」に到達するとの予測のもと、これまでの歩みを振り返りつつ、今後の展望を見据える大会でした。自称「杖をつく」フリーライター・石原靖之さん(移植経験者)へのインタビューはもつと時間をかけて欲しいくらいでしたが、石原さんご夫妻のお人柄は格別でした。「コーディネーター再現」は財団のイベントとしては過去に例のない斬新な企画でした。時間の制約さえなければ、さらに内容に膨ら



記念アピールを読む患者さんとドナーさんたち

心からのご寄付に感謝申し上げます

### 心からのご寄付に感謝申し上げます

10月19日～11月19日

株式会社コーポレーション	現金	30,000円
切明 隆	現金	10,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
中西健治	現金	5,000円
匿名	現金	7,522円
加須市商工会女性部	現金	27,000円
加須市商工会女性部	現金	27,000円
参加者一同	現金	33,000円
(社)珠洲青年会議所	現金	76,074円
匿名	現金	3,406円
青戸福祉保育園	現金	5,930円
匿名	現金	12,054円
関西市民大学講座	現金	64,500円
参加者有志一同	現金	1,000円
浅井みふ子	現金	1,000円
ライオンズクラブ国際協会335-D地区	現金	131,800円
三品雅義	現金	10,000円
泉中学校ボランティア委員会	現金	10,046円
徳島県ライオンズクラブ	現金	100,000円
㈱メディカル光	現金	150,000円
花園学園実行委員会	現金	14,050円
国際ソロプチミスト東京一ヶやき	現金	10,000円
鈴木純子	現金	1,340円
あいち骨髄バンクを支援する会(ピアノ三重奏)	現金	210,047円
●佐藤さち子患者支援基金	現金	1,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
北海道骨髄バンク推進協会	現金	18,924円
帯広支部	現金	18,924円
切明 隆	現金	10,000円
鎌田多喜子	現金	10,000円
土田英順	現金	43,250円
いわき骨髄バンクを支援する会	現金	300,000円
公的骨髄バンクを支援する東京の会(ピアノ三重奏)	現金	25,000円
山下時子	現金	400,000円
高橋慶子	現金	2,000円
●白血病患者支援基金・募金箱	現金	6,000円
信照寺	現金	6,000円
ファミリーマートFC	現金	4,447円
池の上駅北口店	現金	4,447円
ファッションルームマドンナ	現金	3,000円
南スバゴ	現金	850円
㈱ウエダ薬品	現金	59,009円
こんくりニック松漕	現金	1,915円
イズカ薬品大友店	現金	2,610円
佐藤祐二	現金	3,988円
南すし兵衛	現金	12,985円
リリオモンタナ	現金	5,559円
モンキービル	現金	5,676円
一野清一郎	現金	5,705円
●あやちゃん基金	現金	15,000円
白井信次	現金	15,000円

活動資金の拠助をお願いします  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

## NMDP年次総会参加報告

第17回NMDP(全米骨髄バンク)年次総会に参加して

きました。移植2万例の時期と重なり盛大なお祝いもありました。現在登録ドナー数550万人、単年度登録27万人、保存さし帯血3万8千個、昨年度移植2500件。しかしこれだけドナーがいてもHLA適合率は白人84%、黒人60%と人種が多様性が鮮明になっていきました。今回も多くの話題があつて、中でもNMDPによる赤十字社の骨髄バンク関連部門の買収には正直驚きました。また念願の「患者支援基金」が運用開始したことで、ドナー有害事象委員会が設置されフォローアップ体制が整いつつあることも発表されました。また、今年も陸軍軍人の患者さんと、若い青年ドナーの患者さんと、若い青年ドナーの患者さん、驚異的な回復力を見せた患者は、移植後数カ月で再びアフガニスタンに赴任したと言います。ドナーとハグしながらも毅然と立ちつくす様に昨年とは違った人間模様を見ましたが、大統領選を控えた演出と見ることもできなくはない総会でした。(三田村)

## 虹色スミレとリカちゃん

### サカタのタネが新商品で寄付へ

園芸や種苗で知られる株式会社サカタのタネが、事業を通じて社会貢献したいとの思いから、新種の花の売上に応じて全国協議会に寄付をいただくことが決まりました。大谷副会長を通じていただいたお話は、虹色スミレと名付けられたパンジーと文字通り花をイメージしたタカラ社のリカちゃん人形とのコラボレーションという異色の組合せでも評判となっており、商品ラベルに骨髄バンク事業への協力とフリーダイヤルが掲載されています。この話しをまとめた下さったサカタのタネの担当の方は、その後ドナー登録もされたそうです。生命の大切さを伝えたいという願いが込められた5色の花をぜひご鑑賞下さい。(三田村)



お正月の2日、3日、第81回箱根駅伝において、主催者である関東学生陸上競技連盟の協力の下、骨髄バンク普及啓発活動を行います。今回3年連続になる骨髄バンクPRですが、お正月という事もあり、人手不足が少々という事もあります。もし

## サンクト・フローリアン 今年も愛知と山梨でも

秋の恒例イベント、サンクト・フローリアン・ピアノ三重奏団によるチャリティコンサートが今年も毎年恒例の東京・埼玉に加えて、山梨・愛知で初めて行われました。第1回の開催となった2地区での様子を報告して頂きます。



骨髄バンク・チャリティコンサートと銘打った山梨ではじめてのサンクト・フローリアンコンサートが、11月3日(文化の日)に山梨県甲斐市で開催されました。(写真)

午後5時からの演奏会では、ベートーヴェンのピアノ三重奏曲など3曲が演奏され、演奏の合間の休憩時間には、骨髄バンクをとおして骨髄を提供した経験のあるドナーの方に体験談を話してもらおうとともに、会場内のロビーに、「MAMOのメッセージ展」と題した写真やメッセージを展示して、集まった約200名の皆さんに、命についてあらためて考えてもらう内容にしました。

当日は、12月に地元ラジオ局と協同で開催する骨髄ドナー登録会のチラシも配布して、協力を呼びかけました。(河口)

## 今年も箱根駅伝でがんばります!

お時間があがり、箱根駅伝の沿道近くにお住いの方がいらつしやいましたら、是非、ご協力のほどお願いいたします。詳細については協議会事務局までお問い合わせください。なお、既に日本テレビの箱根駅伝のホームページでは、昨年

に続き、「関東学生陸上競技連盟は全国骨髄バンク推進連絡協議会をサポートしています」というメッセージと協議会ホームページへのリンクを掲載いただ

いています。(大橋)

# 推進 間特集

千葉 東京モーターショー  
5日間で108名が登録

11月3日から7日まで幕張メッセで開催された「第38回東京モーターショー」において、期間中毎日、献血並行型登録会を行い、5日間で108名の登録がありました。

主催者の日本自動車工業会のご協力により、一昨年からメッセ会場内での登録推進活動をさせていただいています。今年は商用車の展示ということで規模こそ小さいモーターショーでしたが、それでも来場者は23万人以上もありました。



また場内4箇所に設置されたスタンパラーのコーナーのひとつには「献血骨髄バンクコーナー」があり、親子が連れ立って訪れる賑やかな中で登録会となりました。

もちろん千葉のボランティアだけでは対応しきれませんので、今年も東京、埼玉の会をはじめとするボランティアの仲間たち(恒例の助っ人軍団)が集結し、延べ40名のボランティアが一丸となったことで、大きな成果につながりました。(山本)

## 姫路 イーグレひめじでの登録会

10月3日に姫路市主催の「姫路市民健康展」がイーグレひめじで開催されました。

姫路市保健所予防課の協力により、会場で献血併行ドナー登録会を行うことができました。会場が今年も地下だったためなかなか登録希望者がいなかったのですが、会場近くで開催していた「環境フェスティバル」のステージで急ぎドナー登録のお願いや骨髄バンクのPRをさせていただいたり、お手伝いに来て



ステージ上から骨髄バンクのPR

た姫路福祉保育専門学校の生徒さんたちにもちらしを配布してもらいました。また、献血の呼び掛けとともに受付をすまされた方にも登録の呼び掛けをしました。最終的にドナー登録者は9名でした。

来年は、どこの会場になるか決まっていますが、事前にもっと広報しようと思っております。(濱田)

## 石川 珠洲市健康祭での登録会

石川県能登半島は、最北端の珠洲市において10月31日に第27回健康祭が行われました。

人口の35%が高齢者という過疎の街で初めてのドナー登録会となり、はたして来て下さる方

# こんにちはは募金箱

あじさい看護福祉専門学校 (岐阜県美濃加茂市)

日本のまん真ん中岐阜県中濃地域にある「あじさい看護福祉専門学校」は、看護学科・介護福祉学科が設けられ、共生・創造をテーマに、最先端の福祉医療と豊かなかわりの看護・介護を学ぶ事ができます。また、豪州チャイルズスタート大学と姉妹提携し留学学習が行われる、国際性豊かな学校です。

この秋、私達「岐阜募金会」は学校祭で「献血コーナー・骨髄バンクドナー登録コーナー」を設置しました。学生のみならずドナー登録について関心をよせて頂き、楽しく交流ができました。

そして、医療に携る若い方々に骨髄バンクへご協力を頂けるよう、学生ホールに「白血病患者支援」募金箱を置いて頂きました。たくさんの方に協力頂けるようお願いしています。(中野)

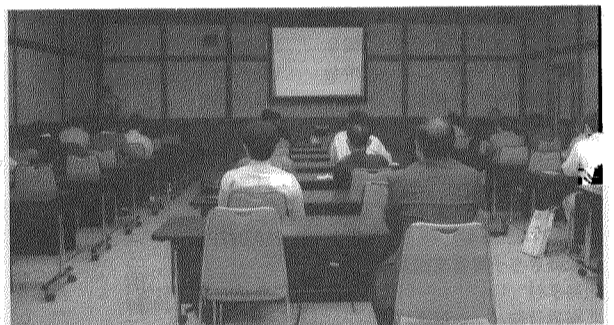


募金箱と学生のみなさん

がいるかどうか心配でしたが5名の方が登録をしました。

一人のご老人が、ドナーになることはできないが、今、私のできることはこれくらいなので募金して下さい、いっしょにすることでお世話になるかもしれない、とおっしゃる姿がとても印象的でした。

その他、登録したいが場所や方法がわからない方も多数いて、あらためてPR不足を感じるとともに、今後のボランティア活動の目標を見つけた一日でした。(西野)



「和歌山骨髄献血の和を広げる会」と行政の窓口の「業務課」と「ひこばえ」の三者が協力して講演会を開催しました。日本赤十字社和歌山医療センター第二内科部長、杉山建夫先生をお迎えして、和歌山における「骨髄移植の現状」と題して、お話をいただきました。杉山先生は最後に「和歌山県人は和歌山で移植、採取ができるように努めることが必要」と締めくくりました。関係三者が力を合わせて講演会を行えた事は、これからの和歌山には大きな一歩となりました。講演会の後、説明員の研修会を開き「ひこばえ」から三人が参加しました。これからの活躍を期待したいと思います。(北山)

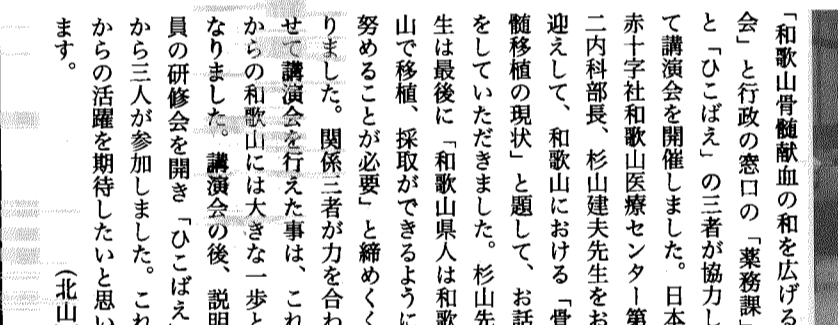


## 和歌山 関係三者による講演会

骨髄バンク推進月間も半ばを過ぎた10月22日、和歌山県内で骨髄バンク推進活動に関わる

## 福岡 学習会&並行登録会

リボンの会は、11月6日福岡市中央区浜の町病院で「白血病患者と上手に闘おう!」をテーマに学習会、併行して登録会を行いました。秋晴れの天気にも恵まれて、患者さんご家族が100名程集い、浜の町病院の加藤先生の基調講演、患者さんと家族の体験発表、骨髄バンクへの熱い思い、交流会等と、和やかな空気に包まれました。あらためて会の存在、存続意義を認識して、11年間成長して来ることができたのも、実質的に支えて下さる先生、仲間の皆様の温かいご支援のお陰と心からの感謝で二杯です。ドナー登録は3名ありました。中味の濃い学習会となり達成感を感じています。ありがとうございました。(吉地里江)



# ボランティアーの仲間たち

## 星野高志さん(鉦路)の巻

鉦路骨髄バンク推進協会の☆(ほし)「星野高志君」を紹介いたします。

彼は大学在学中から骨髄バンクのボランティアとして活躍しており、その活動歴は実に9年になるうとしています。9年にもなるのに未だ一番年下というのが目下の彼の悩みなのですが、星野君は学生時代からその私生活活をボランティアに捧げており、ボランティア優先のあまりパイ

トする時間がなく、その貧しい食生活は鉦路協会の心優しいお母さんたちの同情的でした。一時期札幌や十勝などの地方に出向いたこともあったのですが、ボランティアに専念したい希望がよほど強かったのか、今年春から転職のない今の職場に転職し、心身を捧げてボランティアア



星野高志

ているという今時、希有な人材なのです。(写真は決して彼の選挙事務所ではありません)(小川真理)

# 各地のり



各地のたよりを写真添えてお寄せください。

## 鳥取 中央病院「ふれあいフェスタ」参加

10月30日、8回目を迎えた鳥取県立中央病院「ふれあいフェスタ」に、今年も参加しました。病院関係者を中心となり、病院内のロビーを会場にして、子供と大鼓隊など楽器演奏・コーラスの発表会や、病気に関する支援団体等がバザーやPRコーナーを設置しての手作りイベントです。

鳥取の会も、会員の協力で製作した「元患者さんやドナー体験者の声」のパネル展示、パンフ提供、恒例パネルアートのプレゼント、来場者へマイクでPRスピーチを行いました。



## 山口 15周年記念講演会

10月30日、宇部全日空ホテルで、骨髄バンクを支援する山口の会15周年記念講演会を開催しました。

当日は、行政担当者・医療関係者をはじめ、患者さんやその家族、さらにはたくさんの方の皆様に、来場していただき、参加者は150名を数えました。地元施設である山口大学での骨髄移植の現状、飛躍的に移植件数が増えているさい帯血バンクについて、造血細胞移植の歴史と近未来、と講師の方と講演の内容も多岐にわたる、会場の皆さんも熱心に耳を傾けていました。



15周年記念講演会